

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和5年4月3日(2023.4.3)

【公開番号】特開2022-1782(P2022-1782A)

【公開日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-002

【出願番号】特願2020-107227(P2020-107227)

【国際特許分類】

F 16 D 65/095(2006.01)

10

F 16 D 55/22(2006.01)

【F I】

F 16 D 65/095 C

F 16 D 55/22 C

F 16 D 65/095 H

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月24日(2023.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれは、図7～図9に示すように、裏板16aの周方向一方側部に備えられた挿通孔17aの内側に、インナボディ6a及びアウタボディ7aに備えられたピン12aを挿通し、かつ、裏板16aの周方向他方側部に備えられた耳部18aを、インナボディ6a及びアウタボディ7aに備えられたガイド凹溝13aに対して係合させることで、キャリパ2aに対し軸方向に移動可能に支持されている。インナパッド3a及びアウタパッド4aをキャリパ2aに支持した状態で、裏板16aの周方向一方側の側面に備えられた突き当て面19aは、回入側連結部8aに備えられた被突き当て面11aに対して周方向に対向する。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0109

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0109】

本例では、シート状の接着剤38cをシム板34の裏面に貼着する際に、位置決め部47に備えられた係合孔42aに対して、裏板16aに備えられた突起部36を挿通することで、裏板16aに対するシート状の接着剤38c(接着面39)の位置決めを図っている。具体的には、係合孔42aには、径方向外側部の周方向一方側の端部に配置された突起部36を挿通している。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

インナパッド3c及びアウタパッド4cのそれぞれは、キャリパ2bに組み込む以前の

50

状態で、シム板の裏面のうち、回入側の端部に配置されたピストン 46a の先端部が接触する部分に、シート状の接着剤を貼着してなる接着面を備えている。これに対し、シム板の裏面のうちで、接着面から外れた、2つのピストン 46b、46c のそれぞれの先端部が接触する部分を含む部分には、シム板の裏面により構成される非接着面を備えている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

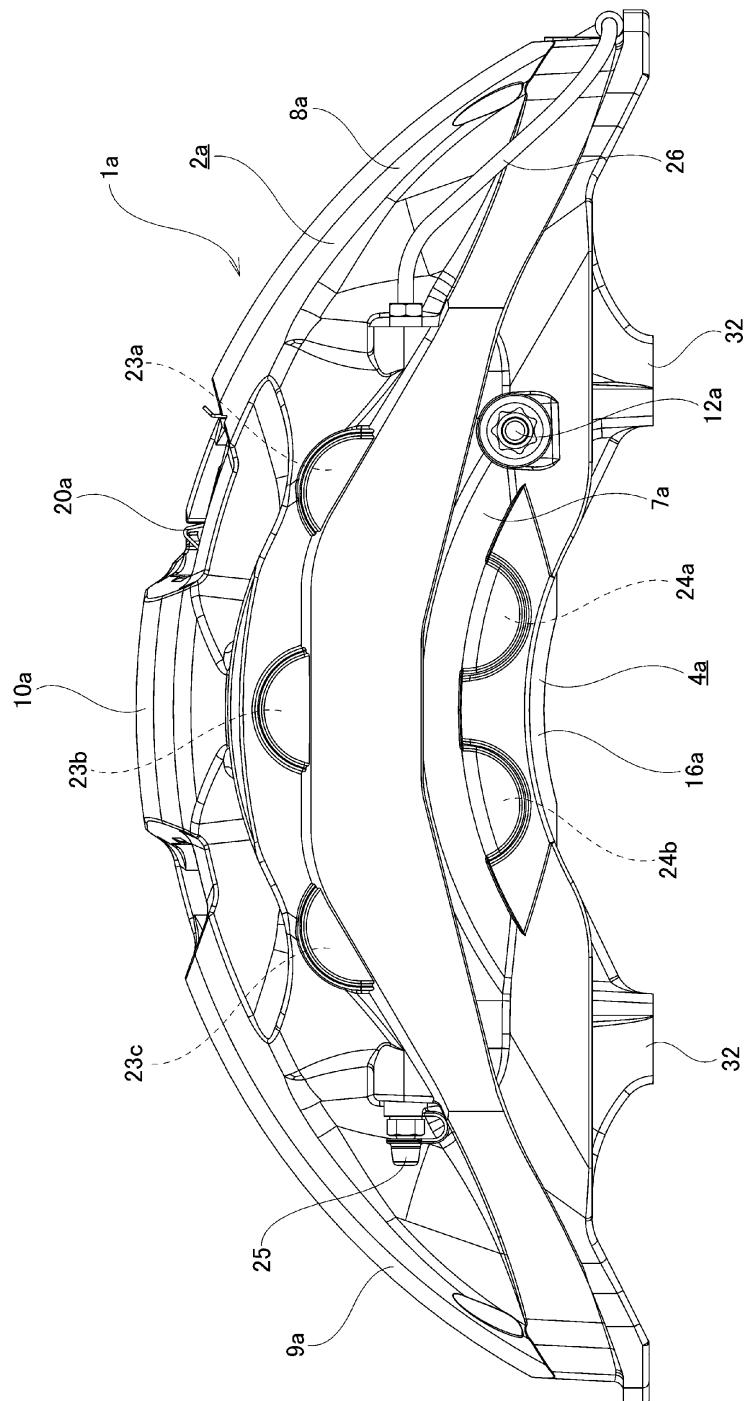
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

10

周 方 向 一 方 側 (回 入 側)



周 方 向 他 方 側 (回 出 側)

20

30

40

50

【手続補正 5】

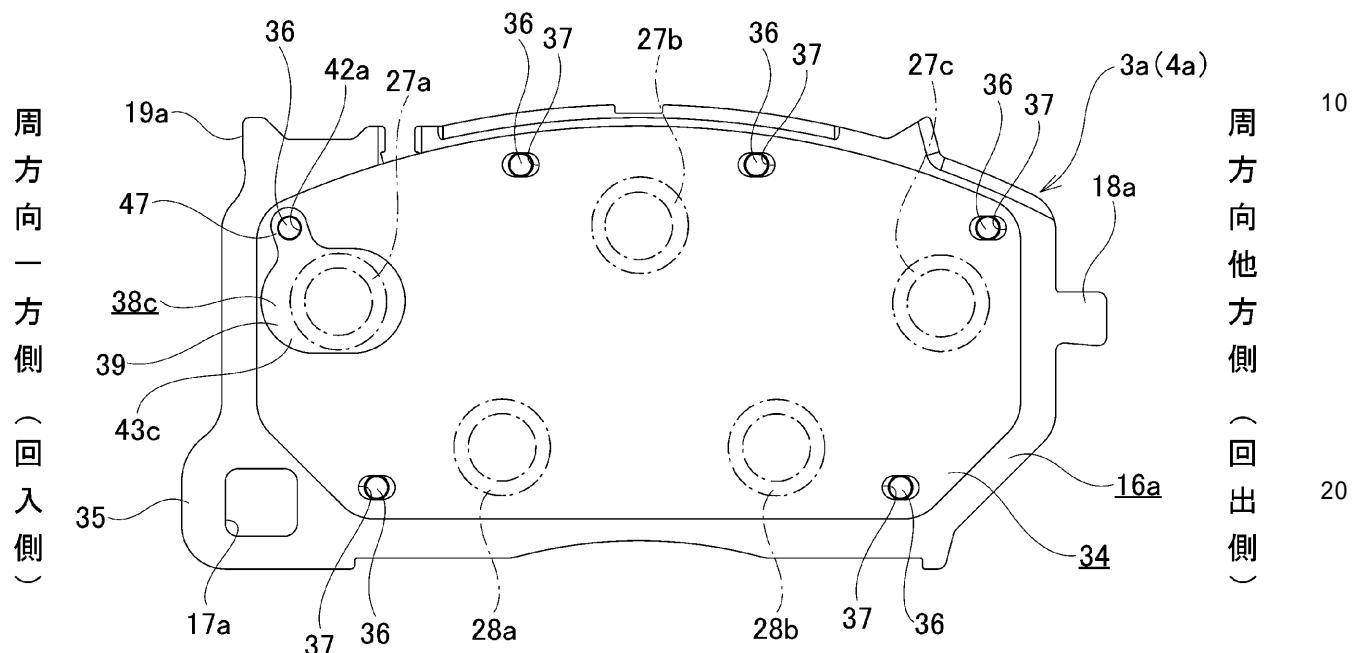
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2 1】



30

40

50